

2. 指導看護師養成研修

(1) プログラム

指導看護師養成研修のプログラムの詳細を以下に示す。

指導看護師養成研修プログラム

1日目:平成21年9月1日(火)

時刻	テーマ	時間	方法	内容 (改訂版)	講師
11:00~	研修における人材育成	60分	講義 演習	<ul style="list-style-type: none"> ・よい研修のための条件、教え方 ・事例検討会の実施方法 ・評価とは(プロセス評価表) 	日本能率協会総合研究所
休憩(60分)					
13:00~	特別養護老人ホームにおける医療的ケアに関する倫理、法規及び多職種連携	60分	講義	介護及び医療的ケアに関する倫理・関係法規の理解 ○高齢者介護の理念 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険法 ・老人福祉法 ・医師法(第十七条) ・保健師助産師看護師法(第三条) ・医師法第十七条に関わる通知 特別養護老人ホームにおけるケアと看護職員・介護職員に関する理解 ○介護老人福祉施設 【介護実践における連携】 ○多職種連携	中島紀恵子センター長 (看護教育研究センター)
14:00~	人体のしくみと働き (1)呼吸器系のしくみと働き (2)喀痰を生じる疾患や病態 (3)口腔内吸引の技術及び関連するケア	60分	講義 講義 講義 講義	加齢に伴う身体機能、認知機能、精神機能の変化 1)呼吸器系の形態・機能 2)呼吸に関する症状に関する理解 ①呼吸困難 ②喘鳴 ③喀痰 ④咳嗽 3)感染対策 ○感染予防の意義と介護感染予防の基礎知識と技術 1)吸引が必要な高齢者 ①高齢者の日常生活に必要なケア ②排たんケア:できる限り吸引をしなくてもすむようにケアを組み立てる ③口腔ケア、環境整備(気温、湿度)、感染症対策、清潔、不潔の考え方 ④消毒(消毒薬の副作用を含む)、滅菌 2)吸引の技術 ①吸引の準備(必要物品の管理、吸引器のしくみ、吸引器のメンテナンス、作動状態の確認等) ②吸引が必要な者の観察(実施前・中・後)、吸引の実際(口腔内吸引) ③吸引後の後片付け、吸引に伴う記録、報告	亀井智子教授 (聖路加看護大学)
休憩(20分)					
15:20~	口腔内吸引の技術及び関連するケアの指導	120分	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職員による吸引の実際を見学 ・吸引に必要な器機の操作 ・研修者同士で口腔内吸引 ・消毒、医療廃棄物の処理 ・口腔ケア 	田中聡子施設長 (ケアハウス大慈)

指導看護師養成研修プログラム

2日目:平成21年9月2日(水)

時刻	テーマ	時間	方法	内容	講師
9:00~	人体のしくみと働き (1)消化器系のしくみと働き	60分	講義	消化器系の形態・機能	千葉由美准教授 (千葉県立保健医療大学)
	(2)経管栄養が必要となる疾患や病態		講義	嚥下障害に関する理解 1)高齢者の嚥下に関する形態的特徴 2)嚥下障害を疑う症状 3)嚥下障害をおこす主な疾患 4)対処方法 関連する症状(下痢・便秘)	
	(3)経管栄養の技術及び関連するケア		講義	1)経管栄養が必要な高齢者へのケア ①高齢者の日常生活に必要なケア (義歯の取扱い及び精神面を含む) ②口腔ケア、胃ろう挿入部のケア、環境整備(気温、湿度) ③感染症対策、消毒(消毒薬の副作用を含む) 2)胃ろうによる経管栄養の技術 ①胃ろうについて(種類、構造、利点、欠点等) ②胃ろうによる経管栄養の準備 (必要物品の管理、経管栄養剤の管理(食品・医薬品)等) ③胃ろうによる経管栄養が必要な者の観察(実施前・中・後) ④胃ろうによる経管栄養の実際 ⑤胃ろうによる経管栄養後の後片付け ⑥胃ろうによる経管栄養に伴う記録、報告	
休憩(15分)					
10:15~	胃ろうによる経管栄養の技術及び関連するケアの指導	120分	演習	・看護職員による経管栄養の実際を見学 ・経管栄養に関する用具の取扱い ・消毒、医療廃棄物の処理	川崎千鶴子施設長 (みずべの苑)
休憩(75分)					
13:30~	安全管理体制とリスクマネジメント	60分	講義	・安全管理体制とリスクマネジメント ・社会福祉施設におけるリスクマネジメントガイドライン ・救急蘇生法	川崎千鶴子施設長 (みずべの苑)
休憩(15分)					
14:45~	モデル事業の検証	180分	講義 演習	・全数調査による検証内容・方法 (日誌、プロセス評価、質問票) ・施設の現場検証内容 (方法、ヒアリング・視察)	日本能率協会総合研究所

2日間(12時間)

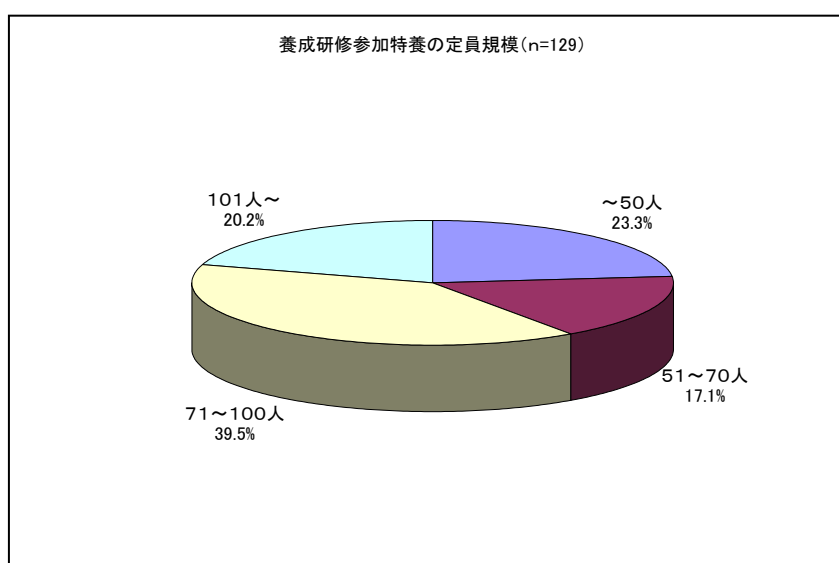
(2) 参加状況

指導看護師養成研修には、129 施設から 1 施設 1 名ずつの指導看護師 129 名とオブザーバー参加などの 9 名を含む 138 名が参加した。参加した 129 施設の属性は以下のとおりである。

①定員数

定員数の平均は 84.4 人である。129 施設の内訳を見ると、「71～100 人」規模が 51 施設ともっとも多く、全体の 39.5%を占めている。次いで「50 人以下」が 30 施設あり、全体の 23.3%となっている。

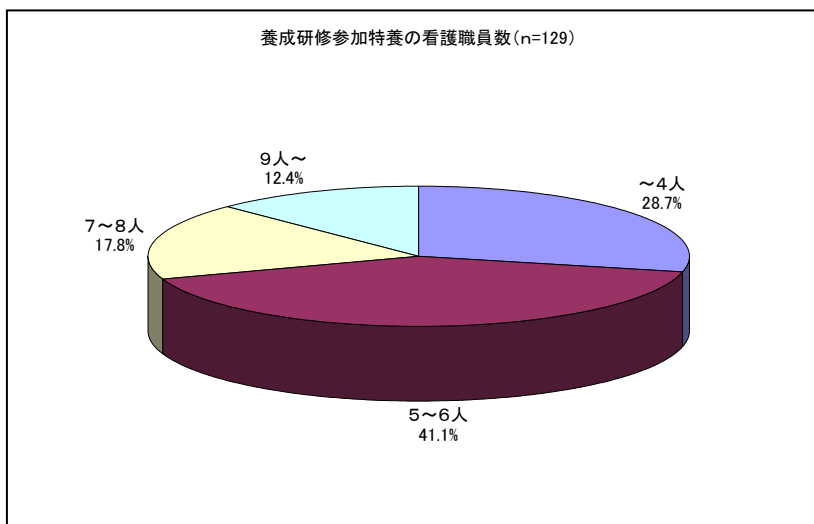
図表 6. 養成研修参加特養の定員規模



②看護職員数 (非常勤を含む)

看護職員数の平均は 6.0 人である (常勤は 4.7 人)。129 施設の内訳を見ると、「5～6 人」が 53 施設ともっとも多く、全体の 41.1%を占めている。次いで、「4 人以下」が 37 施設あり、全体の 28.7%となっている。

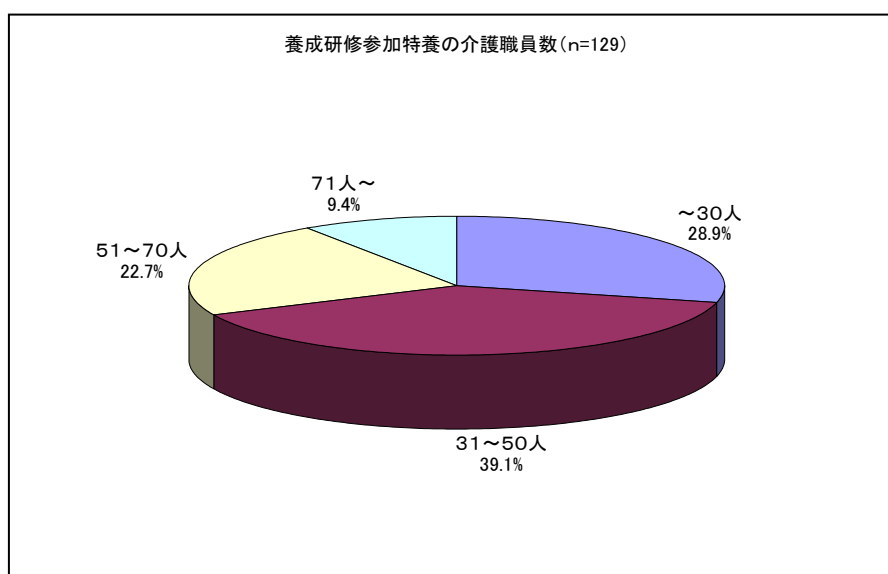
図表 7. 養成研修参加特養の看護職員数



③介護職員数（非常勤を含む）

介護職員数の平均は 44.0 人である（常勤は 34.4 人）。129 施設の内訳を見ると、「31～50 人」が 50 施設と最も多く、全体の 39.1%を占めている。次いで、「30 人以下」が 37 施設あり、全体の 28.9%となっている。

図表 8. 養成研修参加特養の介護職員数

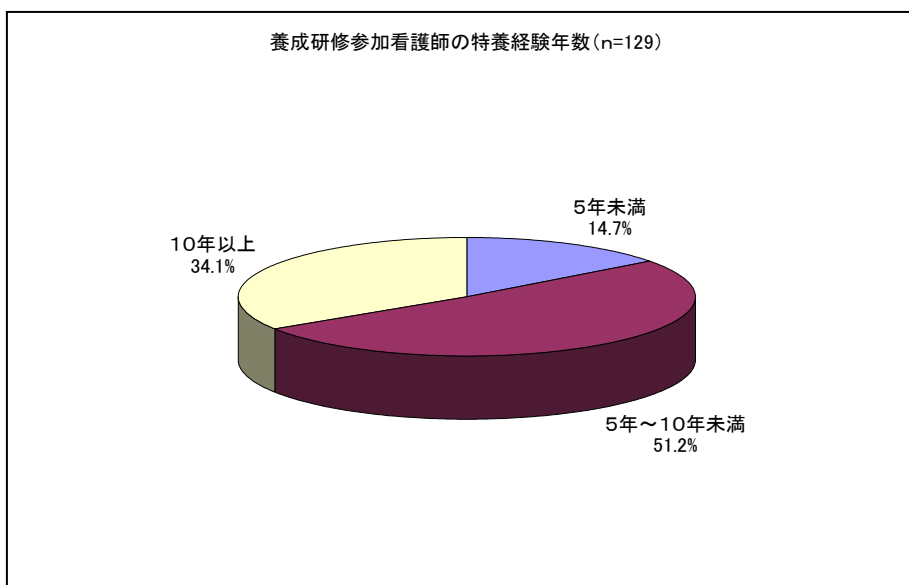


※四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合があります

④参加看護師の経歴

養成研修に参加した看護師の特養の通算経験年数の平均は 9.2 年である。129 人の内訳では、「5 年以上 10 年未満」が 66 人いて、過半数を占めている。

図表 9. 養成研修参加看護師の特養経験年数



(3) 評価結果

研修終了後、参加者に対して事前事後での評価を尋ねたところ、以下の結果が得られた。

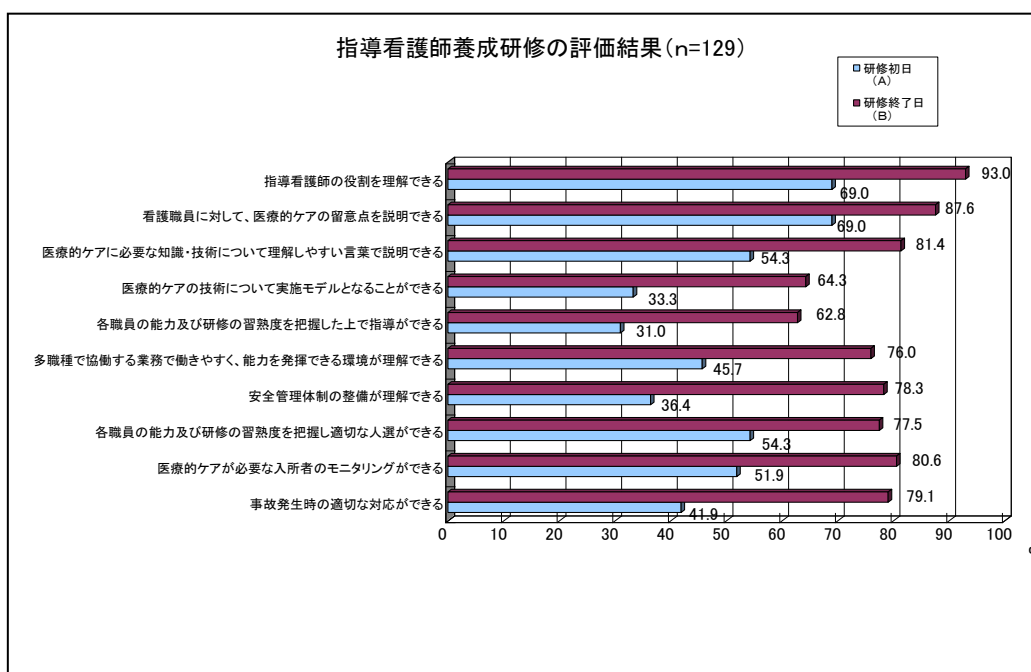
①全体

◆研修後に“達成した”という割合が概ね90%以上と高い項目には「指導看護師の役割の理解」(93.0%)、「看護職員への医療的ケアの留意点の説明」(87.6%)がある。

◆逆に、「医療的ケアの技術についての実施モデル」「職員の能力や習熟度を把握した上での指導」は、研修後に“達成した”という割合は高まっているものの60%台に留まる。

◆研修前後を比較すると、「安全管理体制の整備の理解」(41.9ポイント増)、「事故発生時の適切な対応」(37.2ポイント増)で、“達成した”割合が大幅に増加している。

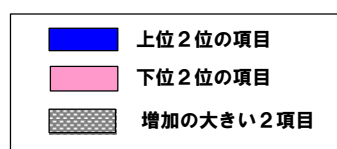
図表10. 指導看護師養成研修の評価結果



指導看護師向け事前事後評価票 (n=129)

(%)

	研修初日 (A)	研修終了日 (B)	研修前後での比較 (B-A)
指導看護師の役割を理解できる	69.0	93.0	24.0
看護職員に対して、医療的ケアの留意点を説明できる	69.0	87.6	18.6
医療的ケアに必要な知識・技術について理解しやすい言葉で説明できる	54.3	81.4	27.1
医療的ケアの技術について実施モデルとなることができる	33.3	64.3	31.0
各職員の能力及び研修の習熟度を把握した上で指導ができる	31.0	62.8	31.8
多職種で協働する業務で働きやすく、能力を発揮できる環境が理解できる	45.7	76.0	30.3
安全管理体制の整備が理解できる	36.4	78.3	41.9
各職員の能力及び研修の習熟度を把握し適切な人選ができる	54.3	77.5	23.2
医療的ケアが必要な入所者のモニタリングができる	51.9	80.6	28.7
事故発生時の適切な対応ができる	41.9	79.1	37.2



②属性別 (P17～20)

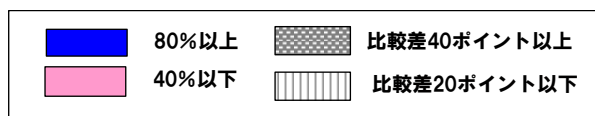
◆研修前に“できている”という割合がどの属性でも高い項目は「指導看護師の役割の理解」「看護職員に対する医療的なケアの留意点の説明」であり、研修後の“達成度”も9割近い。

◆一方、「医療的ケアの技術の実施モデル」「各職員の能力や研修の習熟度を把握した上での指導」「多職種で協働する業務に関する環境の理解」「安全管理体制の整備の指導」「事故発生時等の適切な対応」は、研修前において“できている”という割合は多くの属性で40%以下であった。

◆研修前後で大幅な増加が見られた項目として、「安全管理体制の整備の指導」「事故発生時等の適切な対応」が挙げられるが、「多職種で協働する業務に関する環境の理解」には規模のばらつきがある。

図表 1 1. 指導看護師養成研修の評価結果 (属性別)

		調査数	研修初日 (A)	研修最終日 (B)	研修前後の比較(B-A) (%)
	全体	129	69.0	93.0	24.0
定員数別	～50人	30	80.0	90.0	10.0
	51～70人	22	63.6	95.5	31.9
	71～100人	51	66.7	92.2	25.5
	101人～	26	65.4	96.2	30.8
看護職員数別	～4人	37	67.6	89.2	21.6
	5～6人	53	69.8	92.5	22.7
	7～8人	23	73.9	95.7	21.8
	9人～	16	62.5	100.0	37.5
介護職員数別	～30人	37	78.4	91.9	13.5
	31～50人	50	64.0	90.0	26.0
	51～70人	29	72.4	96.6	24.2
	71人～	12	58.3	100.0	41.7
特養通算経年数別 (指導看護師)	5年未満	19	73.7	100.0	26.3
	5年～10年未満	66	65.2	87.9	22.7
	10年以上	44	72.7	97.7	25.0



看護職員に対して、医療的ケアの留意点を説明できる (%)

	調査数	研修初日 (A)	研修最終日 (B)	研修前後の比 較(B-A)
全体	129	69.0	87.6	18.6
定員数別				
~50人	30	73.3	90.0	16.7
51~70人	22	63.6	90.9	27.3
71~100人	51	68.6	84.3	15.7
101人~	26	69.2	88.5	19.3
看護職員数別				
~4人	37	62.2	89.2	27.0
5~6人	53	75.5	88.7	13.2
7~8人	23	82.6	91.3	8.7
9人~	16	43.8	75.0	31.2
介護職員数別				
~30人	37	75.7	91.9	16.2
31~50人	50	64.0	80.0	16.0
51~70人	29	72.4	93.1	20.7
71人~	12	58.3	91.7	33.4
特養通算経験年数別 (指導看護師)				
5年未満	19	78.9	100.0	21.1
5年~10年未満	66	63.6	83.3	19.7
10年以上	44	72.7	88.6	15.9

医療的ケアに必要な知識・技術について理解しやすい言葉で説明できる (%)

	調査数	研修初日 (A)	研修最終日 (B)	研修前後の比 較(B-A)
全体	129	54.3	81.4	27.1
定員数別				
~50人	30	60.0	86.7	26.7
51~70人	22	50.0	77.3	27.3
71~100人	51	52.9	76.5	23.6
101人~	26	53.8	88.5	34.7
看護職員数別				
~4人	37	48.6	81.1	32.5
5~6人	53	60.4	83.0	22.6
7~8人	23	52.2	82.6	30.4
9人~	16	50.0	75.0	25.0
介護職員数別				
~30人	37	59.5	83.8	24.3
31~50人	50	48.0	76.0	28.0
51~70人	29	58.6	86.2	27.6
71人~	12	50.0	83.3	33.3
特養通算経験年数別 (指導看護師)				
5年未満	19	57.9	94.7	36.8
5年~10年未満	66	50.0	74.2	24.2
10年以上	44	59.1	86.4	27.3

医療的ケアの技術について実施モデルとなることできる (%)

	調査数	研修初日 (A)	研修最終日 (B)	研修前後の比 較(B-A)
全体	129	33.3	64.3	31.0
定員数別				
~50人	30	26.7	63.3	36.6
51~70人	22	36.4	68.2	31.8
71~100人	51	31.4	56.9	25.5
101人~	26	42.3	76.9	34.6
看護職員数別				
~4人	37	27.0	70.3	43.3
5~6人	53	32.1	56.6	24.5
7~8人	23	43.5	73.9	30.4
9人~	16	37.5	62.5	25.0
介護職員数別				
~30人	37	29.7	62.2	32.5
31~50人	50	24.0	56.0	32.0
51~70人	29	62.1	82.8	20.7
71人~	12	16.7	58.3	41.6
特養通算経験年数別 (指導看護師)				
5年未満	19	42.1	63.2	21.1
5年~10年未満	66	28.8	60.6	31.8
10年以上	44	36.4	70.5	34.1

各職員の能力及び研修の習熟度を把握した上で指導ができる (％)

	調査数	研修初日 (A)	研修最終日 (B)	研修前後の比 較(B-A)
全体	129	31.0	62.8	31.8
定員数別				
～50人	30	43.3	73.3	30.0
51～70人	22	27.3	59.1	31.8
71～100人	51	19.6	58.8	39.2
101人～	26	42.3	61.5	19.2
看護職員数別				
～4人	37	29.7	67.6	37.9
5～6人	53	30.2	60.4	30.2
7～8人	23	30.4	60.9	30.5
9人～	16	37.5	62.5	25.0
介護職員数別				
～30人	37	40.5	67.6	27.1
31～50人	50	22.0	58.0	36.0
51～70人	29	37.9	69.0	31.1
71人～	12	25.0	50.0	25.0
特養通算経験年数別 (指導看護師)				
5年未満	19	47.4	73.7	26.3
5年～10年未満	66	28.8	59.1	30.3
10年以上	44	27.3	63.6	36.3

多職種で協働する業務において、働きやすく、能力を発揮できる環境が理解できる (％)

	調査数	研修初日 (A)	研修最終日 (B)	研修前後の比 較(B-A)
全体	129	45.7	76.0	30.3
定員数別				
～50人	30	60.0	83.3	23.3
51～70人	22	50.0	68.2	18.2
71～100人	51	39.2	72.5	33.3
101人～	26	38.5	80.8	42.3
看護職員数別				
～4人	37	48.6	67.6	19.0
5～6人	53	45.3	75.5	30.2
7～8人	23	52.2	91.3	39.1
9人～	16	31.3	75.0	43.7
介護職員数別				
～30人	37	62.2	78.4	16.2
31～50人	50	32.0	72.0	40.0
51～70人	29	48.3	75.9	27.6
71人～	12	41.7	83.3	41.6
特養通算経験年数別 (指導看護師)				
5年未満	19	57.9	78.9	21.0
5年～10年未満	66	43.9	75.8	31.9
10年以上	44	43.2	75.0	31.8

安全管理体制の整備が理解できる (％)

	調査数	研修初日 (A)	研修最終日 (B)	研修前後の比 較(B-A)
全体	129	36.4	78.3	41.9
定員数別				
～50人	30	40.0	83.3	43.3
51～70人	22	36.4	63.6	27.2
71～100人	51	29.4	78.4	49.0
101人～	26	46.2	84.6	38.4
看護職員数別				
～4人	37	35.1	70.3	35.2
5～6人	53	32.1	84.9	52.8
7～8人	23	56.5	82.6	26.1
9人～	16	25.0	68.8	43.8
介護職員数別				
～30人	37	40.5	78.4	37.9
31～50人	50	26.0	74.0	48.0
51～70人	29	41.4	79.3	37.9
71人～	12	58.3	91.7	33.4
特養通算経験年数別 (指導看護師)				
5年未満	19	47.4	84.2	36.8
5年～10年未満	66	33.3	75.8	42.5
10年以上	44	36.4	79.5	43.1

各職員の能力及び研修の習熟度を把握し適切な人選ができる (%)

	調査数	研修初日 (A)	研修最終日 (B)	研修前後の比 較(B-A)
全体	129	54.3	77.5	23.2
定員数別				
~50人	30	60.0	83.3	23.3
51~70人	22	59.1	68.2	9.1
71~100人	51	49.0	74.5	25.5
101人~	26	53.8	84.6	30.8
看護職員数別				
~4人	37	56.8	81.1	24.3
5~6人	53	54.7	71.7	17.0
7~8人	23	56.5	73.9	17.4
9人~	16	43.8	93.8	50.0
介護職員数別				
~30人	37	62.2	81.1	18.9
31~50人	50	46.0	70.0	24.0
51~70人	29	62.1	89.7	27.6
71人~	12	41.7	66.7	25.0
特養通算経験年数別 (指導看護師)				
5年未満	19	63.2	78.9	15.7
5年~10年未満	66	50.0	72.7	22.7
10年以上	44	56.8	84.1	27.3

医療的ケアが必要な入所者のモニタリングができる (%)

	調査数	研修初日 (A)	研修最終日 (B)	研修前後の比 較(B-A)
全体	129	51.9	80.6	28.7
定員数別				
~50人	30	53.3	76.7	23.4
51~70人	22	40.9	68.2	27.3
71~100人	51	51.0	84.3	33.3
101人~	26	61.5	88.5	27.0
看護職員数別				
~4人	37	48.6	75.7	27.1
5~6人	53	50.9	79.2	28.3
7~8人	23	60.9	82.6	21.7
9人~	16	50.0	93.8	43.8
介護職員数別				
~30人	37	54.1	75.7	21.6
31~50人	50	44.0	78.0	34.0
51~70人	29	58.6	93.1	34.5
71人~	12	58.3	75.0	16.7
特養通算経験年数別 (指導看護師)				
5年未満	19	73.7	84.2	10.5
5年~10年未満	66	45.5	77.3	31.8
10年以上	44	52.3	84.1	31.8

事故発生時の適切な対応ができる (%)

	調査数	研修初日 (A)	研修最終日 (B)	研修前後の比 較(B-A)
全体	129	41.9	79.1	37.2
定員数別				
~50人	30	50.0	73.3	23.3
51~70人	22	45.5	72.7	27.2
71~100人	51	31.4	80.4	49.0
101人~	26	50.0	88.5	38.5
看護職員数別				
~4人	37	37.8	70.3	32.5
5~6人	53	39.6	77.4	37.8
7~8人	23	56.5	82.6	26.1
9人~	16	37.5	100.0	62.5
介護職員数別				
~30人	37	51.4	75.7	24.3
31~50人	50	34.0	74.0	40.0
51~70人	29	44.8	89.7	44.9
71人~	12	41.7	83.3	41.6
特養通算経験年数別 (指導看護師)				
5年未満	19	57.9	84.2	26.3
5年~10年未満	66	34.8	77.3	42.5
10年以上	44	45.5	79.5	34.0